

工 事 紹 介

台湾プラスチック向け 161 kV XLPE ケーブル工事

Installation of 161 kV XLPE Cable for Formosa Plastics

1. 概 要

台湾プラスチック・グループは、台湾を代表する企業グループであり、中でも麦寮工場火力発電設備は、台湾国内の主要な電力を賄っております。弊社は2008年より161 kV ケーブルシステムを数多く納入し、電力安定供給とサービス向上を図って参りました。

この程、麦寮工場内において電力負荷調整の系統変更が進められており、昭和電線がそのケーブル工事類を受注し、161 kV ケーブル工事においては約 50000 m のケーブルを納入しております。

2. 仕 様

ケーブルは 161 kV XLPE (Cross-Linked Polyethylene) の単芯ケーブル、中間接続箱は PJ (プレハブ接続箱)、終端接続箱はプラグインタイプのものを納入しております。

3. 特 長

ケーブルはパイプラックの最上部に設置したトレイに收容する為、延線ルートによっては約 20 m の上りと下りが連続する区間があり、約 1000 m の長尺ケーブルの延線がプロジェクト全体の7割を占めています。

ケーブルの延線作業ではケーブルへの外傷のほか、過度な曲がりや側圧がケーブルに加わらない様に、延線機材の配置間隔の計算、現地での配置確認、機材の電圧降下等による速度低下など作業に支障が起きないように延線システムをスパン毎慎重に検討しました。その検討結果を基に、現地延線業者と打合せを綿密に行い、延線工事を進捗させました。特に、垂直箇所での延線では、垂直部にホーリングマシンを配置し、ケーブルへの荷重が一点に集中することがないように注意を払って工事を無事に終了させました。



図1 垂直箇所のホーリングマシン設置状況



図2 延線ルート (パイプラック)



図3 ケーブル延線中状況



図4 ケーブル延線中状況

問合せ先：〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-14(キューブ川崎)
昭和電線ケーブルシステム(株)
海外システム営業部 営業課
電話(044)223-0542 FAX(044)223-0561